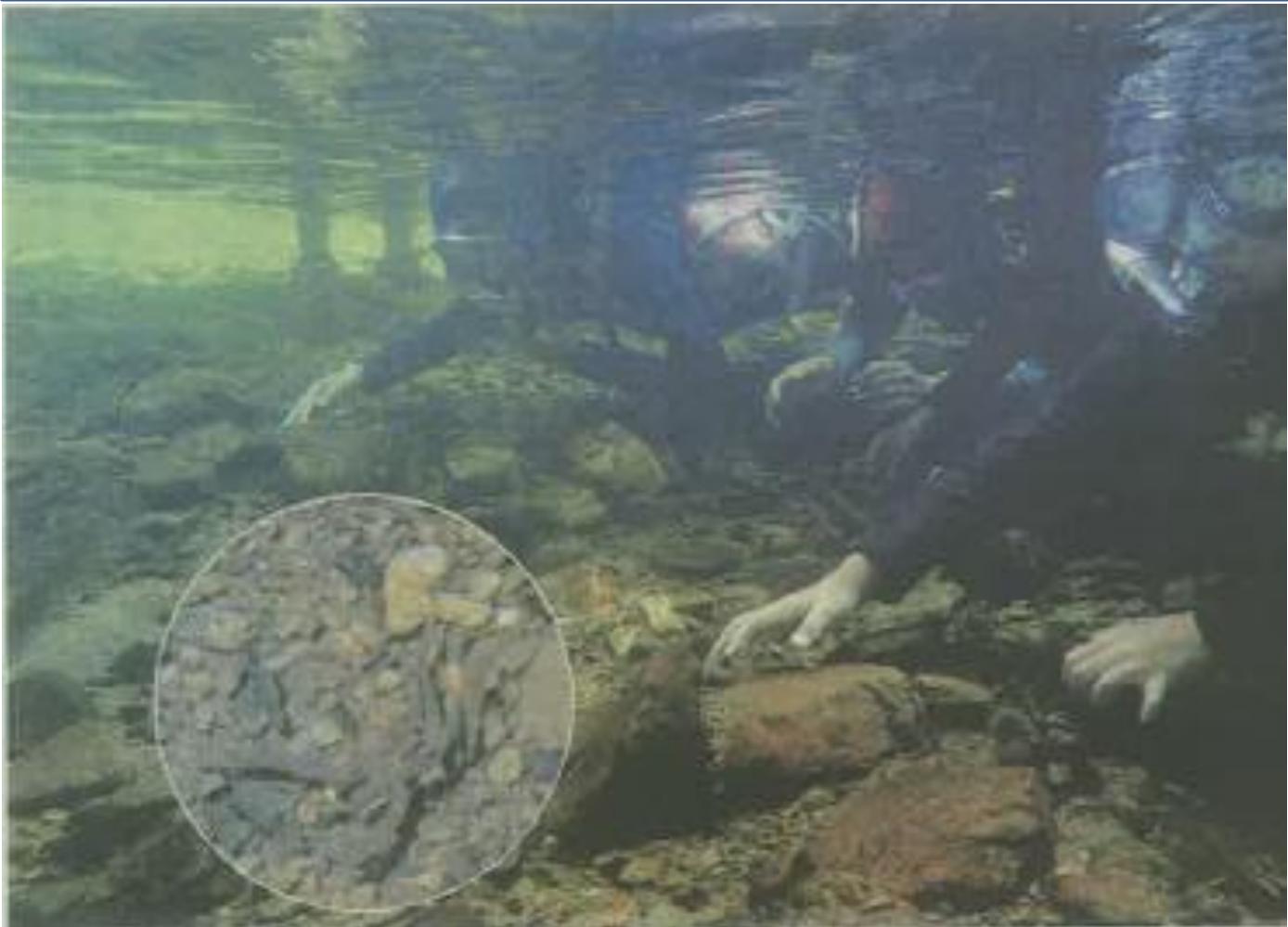


リュウキュウアユの観察学習



5年生の元野結美さん
(10)は「去年は見られな

た。
児童らは奄美の自然環境
の特徴や、海と川を行き来
するリュウキュウアユの生
態などについて校内で説明
を受けた後、バスで学校近
くの役勝川中流域へ移動。

水中メガネを着けて川の中
をのぞき、泳いでいるアユ
の姿を確認した。テナガエ
ビやハゼなども多く見られ、
参加者は身近な川の生き物の観察を楽しんでい

リュウキュウアユ(円内)
を観察する児童――13日、奄
美市住用町の役勝川

同校は環境教育の一環で、2006年からリュウ

奄美市住用町の住用小学校(山美奈子校長、児童17人)は13日、世界自然遺産地域に指定されている同町の役勝川で絶滅危惧種リュウキュウアユの観察学習を行った。児童と保護者、行政、地域住民ら約40人が参加し、水中を元気に泳ぎ回る若アユの姿に歓声を上げた。

住用小児童が観察学習

奄美市住用町の役勝川

リュウキュウアユに歓声

令和6年7月13日(土)は、本校で19年目となるリュウキュウアユの観察学習がありました。講師は、久米先生・米沢さん・又野さんです。始めに理科室で奄美の自然に関する学習会をしてから、バスで移動し観察会を行いました。リュウキュウアユをはじめ、多くの水中生物を観察することができ、子どもたちも大喜びでした。